

8月11日(日・祝)発行

15 YEARS! 1954-2019

ミュージック開館 15周年!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



ルッツが張り巡らせた音楽の網目 オルガンは豊かに鳴り響く

ここで聞いていいよと突然言われた伊藤正晃くん(左)、ルドルフ・ルッツさん(中央)、アシスタントの浅井寛子さん(右) ©青柳聡

【8/10:真夏のバッハⅣ ルドルフ・ルッツ
パイプオルガン・リサイタル】

演奏を聴いているうちに、クモの巣に捕らわれたような心持ちになった。と言っても、その網目は五線譜と音符とでできている。気分は上々だ。

オルガニストのルドルフ・ルッツが、2年ぶりにミュージックの舞台に帰ってきた。プログラムにはバッハの傑作を並べる。それで事足りたりしないのがこの音楽家の身上。折々に即興演奏を挟みこむ。それも自分勝手に弾くのではない。中心となるバッハ作品と即興とを、その場で関連付けていく。お見

事!
すでにある曲を弾くにせよ、即興で音楽を生み出すにせよ、その歩みは意外なことに淡々としている。オルガンの音栓(音色変換装置)の選択はとてシンプル。一方で、メロディーに“句読点”をきちんと打つので、装置に頼らなくても音楽の“滑舌”ははっきりとしている。一見、地味な音色選びも、音が重なり合ったときには大きな力を発揮する。たとえばオルガン・コラール「お汚れなき神の小羊」。最も高音から最も低音のパートまで、だんだんと音の重なりが厚みを増していく。各声部

はおおの個性をしっかりと鳴り響かせる。曲は事もなげに進んでいくが、聴き手はいつの間にか何重にも張り巡らされた音楽の網目に捕らわれている。

後半には昨年亡くなったジャズピアニスト、佐山雅弘に捧げる演奏も。佐山とルッツとは、ミュージックでの共演を通して深い友情を育んだという。バッハの作品、それに関連する即興、佐山への献奏、いずれの場合にも並々ならぬ気持ちを注ぎ込むのがこの人のスタイル。鳴り響く音楽の豊かさが、奏者の情理の深さを物語っていた。
(澤谷夏樹/音楽評論)



ルドルフ・ルッツ&浅井寛子、オルガンカフェで見出された伊藤正晃くんを囲んで。

来場者の声

ルッツさんの想いのこもった素晴らしいコンサートでした。こんな素敵なお友を持った佐山さんも幸せだったと思います。ルッツさん、これからもこのご縁を大事にまたミュージックで聴かせてください。(40代・孤独のコン) / 素晴らしいルッツ・ワールド! 即興あり、ピアノもすごい。天才ですね。解説もあってとてもパイプオルガン、バッハを身近に感じました。またぜひ公演お願いします! / ミュージックが聖堂のように感じました。折りの時でした。ピアノ、佐山さんが弾かれているように錯覚しました。Super young colleagueの出現も佐山さんの導きかと思いました。(60代・Yoko) / ロビーコンサートでリクエストを演奏してもらいました。ルドルフさんありがとう! 元気が出ました。(50代・キヨ) / 初めてパイプオルガンのコンサートに来ました! オルガンの音が天から降ってくるようで夢心地になったひとときでした。真夏のバッハは夏の暑さを忘れさせてくれました。(50代・みゆき) / ルッツさんと佐山さんの繋がり強さを改めて感じました。以前一度ルッツさんと佐山さんのセッションコンサートや佐山さんのライブに足を運んだことがあり、とても感慨深かったです。ピアノとオルガンでの二つの「虹の彼方に」とても素敵でした。(40代)

東京交響楽団フィナーレ・コンサート ～若き才能と名匠が心に迫るフィナーレを～
8/12(月・振休) 15:00開演(11:00公開リハー開始/14:30本開場) ミュージック川崎シンフォニーホール



NEXT!
サマーミュージック
明日のチケット情報



指揮/尾高忠明



ピアノ/ジャン・チャクムル

- シューマン：ピアノ協奏曲
- ショスタコーヴィチ：交響曲第5番「革命」

リハ 11:30～公開リハーサル(自由席)
*途中入退場不可。終了後、客席をクローズします。

完売御礼!

*当日券の販売はありません。

【公演Review:8/10(土)出張サマーミュージック@しんゆり!
「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」

熱く駆け抜けるベートーヴェン

猛暑を突き抜けて歓喜へ!連日の猛暑を吹き飛ばすような、熱く駆け抜けていくベートーヴェンに身を委ねた。

10日は恒例の「出張サマーミュージック@しんゆり!」。2曲の協奏曲のソリストに成田達輝(ヴァイオリン)と菊池洋子(ピアノ)を迎えて、垣内悠希指揮=神奈川フィルによるオール・ベートーヴェン。ゲスト・コンサートマスターを山本友重(東京都交響楽団)が務めた。

《フィデリオ》序曲のあと、まず

は成田達輝のヴァイオリン協奏曲。ヴァイオリンという楽器の持っているさまざまな声と表情を全部出すような振幅の大きな表現。とくに第3楽章で、ロンド主題をぐいぐいリードしていく独奏の、エネルギーの奔流には引き込まれた。第1、3楽章ともカデンツァはクライスラー版を弾いた。

後半は菊池洋子のピアノ協奏曲第5番《皇帝》。深紅のドレスの凛とした立ち姿に、後ろの席から、「はあー。きれいなええー」という奥さまのためいき声が聞こえてき



© 藤本史昭

た。もちろん美しいのは容姿だけではない。強奏でもけって濁ることのない、鋼鉄でできたバネのような、強さとしなやかさを兼ね備えた美しいタッチ。つねに気品を湛えた《皇帝》に浸った。

(宮本明/音楽ライター)

◆来場者の声/成田さんのエネルギー溢る演奏すばらしかったです。特に美しいピアノ、力強いフォルテシモ、よく計算されたテンポ、いずれもブラボーでした。菊池さんの打鍵の強さ、曲の構成力が素晴らしいかったです。皇帝の中の皇帝という名演でした。ブラボー!(60代・マナブ)/ヴァイオリン、ピアノ共にすばらしい演奏でした。神奈川フィルの皆さんの演奏もすばらしかったです。(40代・ホルン好きのママ)

パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



キトキトの地魚がヤマ盛り! スペシャルな海鮮丼

ラゾーナ川崎プラザ1階のフードコートにある回転寿司、二代目ぐるめ亭。

本日ご紹介するのは、回転していない、丼コーナーのスペシャルメニュー「湘南朝とれ 海鮮丼」1480円。その日の朝に小田原漁港に上がったキトキトの地魚がヤマ盛り、サザエの刺身や生エビなども、ドンプリの上で押し合い押し合いの密集状態。おまけにアツアツのカマの唐揚げ(右上)も付いて超おトク。ビール(オプション)に良く合う! 難を言えば、その朝の釣果に左右されること、ランチタイムにはサカナの入荷が間に合わないことが



あること(一度経験あり)。

サマーミュージックの優待特典は、ソフトドリンクまたは海女の海苔汁(味噌汁)がサービス。個人的には、海苔汁がイチ押しです!(事業課 やまもと)

二代目ぐるめ亭 回転寿司

▶ リスト P.19 掲載

📍 ラゾーナ川崎プラザ
🎁 パートナーショップ特典

海女のり汁一杯

または

1ドリンクサービス

(ソフトドリンク)

ミュージック公式インスタもフォローしてね!

Instagram
ミュージック川崎シンフォニーホール

旅するミュートン!



♡👏🎶
サマーミュージック ミュートン、東京フィルのコンサートマスター#三浦章宏さんの楽屋にインタビュー訪問。「徐々にマエストロ・エッティンガーと演奏ができます! 早く会いたいですね」と共演を心待ちにしている様子。真夏の暑い「悲愴」に乞うご期待! 取材のあと、1731年創業のドイツビール「エッティンガー」も楽しんだトン♪
#旅するミュートン #ミュージック開館15周年
#東京フィルさんもいっぱい遊んでくれたトン



友の会
キャンペーン
実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

・年会費3,000円
・チケット割引
・先行予約
など、お得な6つの特典あり!
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方に プレゼント!

サマーミュージック公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】をプレゼント! DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)



サマーミュージック公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

れ
レッツ・テイク・
ア・リスク!
Let's take a risk!
(ミュージック友の会)
東京交響楽団音楽監督

川崎おんがく
かるた製作中
<2019年末販売>

2020年といえば東京オリンピックが開催されますが、その日程は...例年のサマーミュージックの日程とだだかぶりではありませんか!! 果たして、来年の開催はどうなるのか...! お偉いさんや事業チームは、きつと今ごろ頭をひねっていることでしょう。私も、サマーミュージックファンのひとつとして、心待ちにしたいと思います。
(経理担当 寸)

昨日の感動をお届けします!!

ほぼ
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

仕事上、なかなかお客様に出ないのですが、皆と同じスタツプロシヤツを着て、本番の様子をモニタースピーカーで聴きながら、ホール事務室でも盛り上がっています。
さて、今年のサマーミュージックも終盤、来年が待ち遠しくなってくる時期ですね。ミュージックスタツプならば、もう来年のプログラムを知っているんじゃないの?と思われ方もいらっしゃるかもしれませんが、私には公演の企画を担当しているわけではないので、実際にどんな演出を行うかを知るのには、たいていチラシが刷り上がってから。お客様のお手元に届くとそんなに差はないのです。
2020年といえば東京オリンピックが開催されますが、その日程は...例年のサマーミュージックの日程とだだかぶりではありませんか!! 果たして、来年の開催はどうなるのか...! お偉いさんや事業チームは、きつと今ごろ頭をひねっていることでしょう。私も、サマーミュージックファンのひとつとして、心待ちにしたいと思います。
(経理担当 寸)

スタツプ
日誌